

# 2025年度・自己評価評価結果

三ツ境たんぽぽ保育園

2025年3月

## 2025年度 三ツ境たんぽぽ保育園 自己評価結果

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。このことを踏まえて三ツ境たんぽぽ保育園では保育の質の向上を図るために職員・保育所の自己評価を毎年実施しています

今年度の本園の保育・教育全般を項目・視点・方法を総合的に評価し、結果を下記の通り公表し、子どもの理解を基盤に保育を振り返り、自分の保育の良さや課題を捉え、職員の自己評価を振り返り全職員の共通理解のもと、本園の保育理念・方針・目標に記載されているように十分に擁護の行き届いた環境の中で、子どもを真ん中に保護者・職員・地域が共同で子どもの笑顔・成長・子育ての喜びを共有することを引き続き大切にして保育をおこなってまいります職員一同、よりよい保育に向けた改善や充実に取り組み、信頼関係を引き続き築いていきたいと思ひます。

A→出来ている・わかる B→あまりわからない・やや不十分 C→わからない・改善・検討を要する

項目	内容	総合評価
保育理念	園の保育理念・保育方針・保育目標を理解している。目標に沿って保育を意識的に行っている	
	子どもの人権が尊重され、大切に保育が行われている	A
	新保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている	B
	子どもの最善の利益を考慮し生活のふさわしい場として子どもが心地よく過ごす事の出来る環境を整備している	A
	理念 ①十分に擁護の行き届いた環境の下、子どもを真ん中に保護者・職員・地域が共同で子育ての素晴らしさを実感する ②保育園と家庭が常にコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築き互いに協力し合う ③子どもの笑顔や成長・子育ての喜びを共有し、楽しく充実した保育園生活を送り心身の健康の基礎をつちかい健康やかに育ち合う	
	方針 ①子どもの要求や意欲を大切にする ②毎日の生活と遊びの中で力いっぱい活動する ③健康な身体と確かな考え豊かな心を持つ子どもに育てる	
目標 ①毎日の生活や遊びの中で日々充実した集団生活を送る ②異年齢の子どもとの関わりや仲間達と体験を積み重ね、共に喜び、たくさんの事を学びながら生きる力・育つ力を身に付けて成長して行く		
発達援助・養護	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人一人の子どもの個人差を十分に把握した保育意を行っている	A
	子どもの24時間の生活に配慮し一日の生活リズムが無理なく過ごせるように配慮している	A
	子どもの発達に合わせて生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けられるように援助を行っている	A
	食物アレルギー等、医師からの指示を受けながら適切な個別に配慮し食事を提供している	A
	食事を楽しむことが出来る工夫をし食に関する豊かな経験が出来るように行っている	A
食事・人間関係	遊びや生活を通して子ども同士の関係や職員との関係が育つように配慮している	A
	子どもの発育状況・体調等を考慮し子どもが美味しく安心して食べる事の出来るように配慮している	A
	遊びや生活を通して子ども同士の関係や職員との関係が育つように配慮している	A
	異年齢の子どもの交流が楽しめるように工夫・意識して考えている	A

環境 ・ 乳 児 保 育 ・ 延 長 保 育 保 護 者 ・ 地 域 支 援 ・ 保 育 を 支 え る 組 織 的 基 礎 ・ 保 育 計 画	外遊びや散歩等戸外で遊ぶ機会を多く取り入れ子どもが戸外で過ごす事の心地よさや楽しさを十分に味わう事を大切にしている	A
	子どもが主体的に活動出来る環境を整備し子どもの生活と遊びを豊かにする保育を行っている	A
	職員が協力して、園内外の整備・管理にあたり清掃がなされ定期的に点検・見直しを行い子どもが心地よく安全に過ごせるように配慮している	A
	障害の有る無しに関わらず安心して生活できる保育環境を整え、保育内容や方法に配慮をしている	A
	子どもにわかりやすい言葉を使い、声の大きさや優しい語りかけなど穏やかに話しかけるように配慮している	A
	授乳やおむつ交換の際は安心出来るような声掛け・スキンシップを心がけている	A
	事故予防に努めた保育を行っている（おんぶ・抱っこ・乳母車・沐浴・おむつ交換等）	A
	午睡中に呼吸の確認・ブレスチェックを行っている	A
	SIDS(乳幼児突然死症候群)防止の為、仰向けに寝かせる定期的に睡眠時の状態を観察・記録するなど、必要な措置を講じている	A
	乳児保育において発達過程に応じた保育を行い生活と遊びに配慮し家庭と連携を密にしている	A
	子どもの在園時間を考慮した長時間にわたる保育の為に落ち着いて過ごせる環境を整備し保育の内容や方法に配慮している	A
	子どもの状況について情報の伝達など職員間の引継ぎが適切に行われている	A
	園や家庭での様子を伝え合う中で子ども育ちを保護者と共に考え喜び合うことが出来ている	A
	日常の保育や行事に参加する中で、保護者との信頼関係を築くよう取り組みを行っている	A
	クラス懇談会、個人面談などで保育内容などわかりやすく説明し、情報提供や個別支援などを行っている	A
	ひとり一人の保護者の状況を踏まえ子どもと保護者の安定した関係に配慮し支援している	A
	中高生の職場体験や保育実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解し、自身が指導的な立場である事を意識している	A
	地域の小学校や近隣保育園との間で交流する機会を設けている	A
	園庭開放・一時保育など保育所の専門性を生かし地域の子育て支援を行っている	A
	子どもの健康状態、体調不良や怪我などの情報を職員間で共有している	A
安全点検(園内・保育室・遊具・ヒヤリハット)を実施し結果や改善点を職員が共有している	A	
心肺蘇生などの研修を行っている	A	
保育常務で知りえた子どもの家庭に関する秘密の保持について周知し守られている	A	
保育意実践・保育指導計画が適切であったか、振り返り・見直しを行い保育の改善を図り専門性の向上に努めている	A	
クラス職員連携、全体の連携を意識して、具体的な行動をとっている	A	
外部研修・園内の研修などに職員が参加し。の計画作りに参加し、保育の質向上に努めている	A	

## 【園全体の評価】

- ・保育方針、保育目標や「保育園と家庭が常にコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築き互いに協力をする」「子どもの笑顔や成長・子育ての喜びを共有し、楽しく充実した保育園生活を送り心身の健康の基礎を培い健やかに育ちあう」という保育園が大切にしていることを職員集団で共有し、安全・安心な保育に取り組むことが出来た
- ・保育行事やクラス懇談会、個人面談を行う中で、保護者と保育園や家庭の様子を丁寧に伝え合うことを大切にコミュニケーションを図り信頼関係を深め、子どもの育ちを保護者と共に喜び合い、子どもの成長を支える大きな力になるよう働きかけることができた
- ・園内外職員研修は救命救急講習・AED研修、子どもの発達、食育、給食セミナーに参加し、旭区主催の子育て支援(子育てマルシェ)や食育セミナー・神奈川保育大学などに実行委員として職員が積極的に参加し取り組むことができた。保育合同研究集会において「4, 5歳児の遊びと保育」の実践発表を行い、発表に取り組む中で幼児クラスの子どもたちの成長・発達の姿を職員で確認し学び合い、今後の保育に繋げることが出来た
- ・保育園のマニュアルに沿って、食物アレルギー緊急対応訓練を始め、嘔吐処理、園外での不審者対応等の確認・共有を行い、実際の想定に近づいた訓練・練習を行うことが出来た
- ・会議ではヒヤリハットの共有、理解を深め合いを大切にすることが出来た

## 【来年度の課題】

- ・「保育所保育指針」に基づき、子どもの最善の利益を守り、子どもの人権を尊重し、子どもの健全な心身の発達を支援するために引き続き創意工夫を凝らしながら更なる専門性の向上や保育実践の改善に努める
- ・園内外の研修に積極的に取り組み・参加し会議で園内研修として研修発表・報告し発揮できる場を作り職員で共有し高め合い、日々の話し合いを積み重ね引き続き・・・の保育を目指していく
- ・たんぽぽひろば(園庭開放)や育児支援などを通して、地域の子育て支援に取り組んで行く
- ・職員・保護者が引き続き、日常的にコミュニケーションを図り信頼関係を大切にすることで、よりよい保育に結び付けられるように共有することを大切にする
- ・自己評価の結果を踏まえ、今後も全職員が常に同じ認識の下で保育にあたるよう、組織全体の連携を図っていきます